

監督◆インタビュー

監督

ランコ ポポヴィッチ

RANKO POPOVIC

プロフィールは
こちらをクリック!



--岩手戦に向けて、充実したトレーニングが続いている印象です。いかがでしょうか?

「トレーニングで発揮しているようなインテンシティーを見せることができれば、琉球との開幕戦もまた違った展開になったと思います。ただ琉球戦で足りなかったことに関しては、チーム内で共通意識を持っています。まだシーズンは始まったばかりですが、昨季から後退してしまっただけでは意味がないですし、これからも日々成長していけるようにやっていきたいと思っています。一歩でも二歩でも前へ進んでいく状況を作っていきたいです」

--プレーの精度を追求していくことは今後も続くのでしょうか。

「プレーの精度については、まさに琉球戦で足りなかった部分です。判断も遅かったですし、ワンテンポ、ツーテンポ遅くなったことで、プレーが繋がらない場面も見られました。またパスの精度を追求することは今後も意識してやっていくことです。現状は昨季のものを取り戻していく作業をしているため、まだ波なく戦える状態ではないということです。ただ集中力を高く保ち、テンション高く、また高いインテンシティーでトレーニングができていれば、以前の水準を取り戻すことや、そこに上積みをしていくことはできると思います」

--岩手の印象は?

「今の岩手は、10年前の我々の姿と重なります。立ち位置はJ2に上がったばかりですが、オーガナイズという意味では規律を保って戦うこともできるチームです。前節の千葉戦の岩手は、先発出場したフィールドプレイヤーは1人が170cm台であることを除いて、残りの9人は180cmを超えている選手たちで構成されていました。また見栄えよりも、結果にこだわった戦いをしてくるチームです。千葉を倒したという事実からも、彼らは力があるということ。甘く見てはいけない相手だと十分に分かったと思います。ただ岩手に対して、敬意を持って戦いますが、必要以上に恐れる必要はありません」

--開幕戦に続くホームゲームです。ファン・サポーターの皆様へメッセージをお願い致します。

「勝つために全てを出し切る姿をお見せします。また皆様には我々のチームがやっていることをサポートしていただき、良い結果を出すために、皆様のエネルギーをいただきたいと思います。そうやって皆様の力をお借りして、勝利という結果をつかみ取りたいと思います。よろしくお願いいたします」

FC MACHIDA ZELVIA Official MATCHDAY PROGRAM DIGITAL

FC町田ゼルビアと、共に。
CLUB
ZELVISTA

シーズンシート
クラブゼルビスタ2022
会員募集中!

